

受検者住所 _____

受検者氏名 _____ 様

医療機関所在地

医療機関名称

医師氏名

麻しん抗体検査結果通知書

あなたの麻しん抗体検査の結果は、次のとおりです。

麻しん抗体検査受付年月日：令和 年 月 日

受付番号： _____

検査方法	検査結果	判定基準
<input type="checkbox"/> EIA法（IgG）		16.0未満
<input type="checkbox"/> PA法		256倍未満



判定結果
<input type="checkbox"/> 麻しんの感染予防に十分な抗体をもっています。
<input type="checkbox"/> 抗体価が低く、感染予防に十分ではありません。

※実施した検査方法、判定結果に☑を入れること。

麻しん抗体判定結果で、麻しんの「抗体価が低く、感染予防に十分ではありません。」と判定された方へ

今回の検査で「抗体価が低い」と判定された方は、麻しんに感染するリスクが高い方です。麻しんに感染すると、約10～12日後に38℃前後の発熱が2～4日間続き、咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。その後、高熱（多くは39℃以上）が出るとともに、発疹が出現します。多くは7～10日で症状が回復します。

麻しんは肺炎、中耳炎を合併することがあり、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。

免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

ご自身だけでなく、周りの人たちを感染のリスクにさらさないためにも、予防接種を受けることを検討してください。